



Best 棚

ベスト

枕棚施工説明書

- 1 F☆☆☆☆製品
- 2 和室・洋間に最適
- 3 簡単施工
- 4 非塩ビ



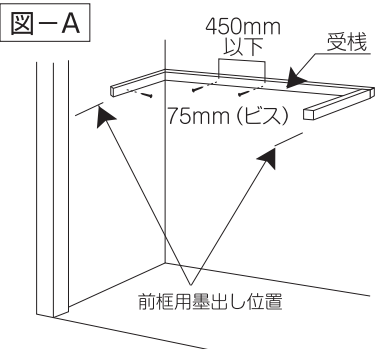
970mm・1450mm・1980mm・2950mm共通施工手順①②③

① 壁面の下地処理

受棧の取り付け位置に胴縁、間柱等の下地処理が施されている事を確認して下さい。

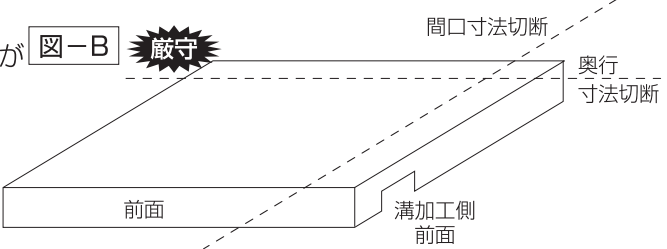
② 受棧の取り付け

受棧と前框の取り付け位置に墨出しを行い、受棧をカットし位置にあわせて後受棧、横受棧の3方に受棧を取り付けます。(図-A)
ビスは75mmのものを使用し、間隔450mm以下で受棧を固定して下さい。
注意) 受棧をカット時、切り口にバリが発生した場合は、速やかに取り除いて下さい。



③ 前框・棚板の切断

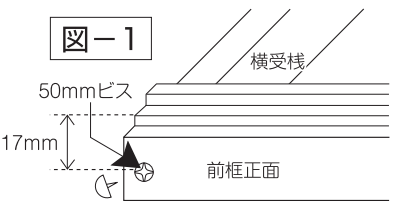
前框は内寸法に合わせて切断して下さい。棚板は溝加工側が前になるため、棚板の奥行きを切断する場合は必ず後側から切断して下さい。(図-B)
2950mm棚は図-Bと図-IVを参考に切断して下さい。



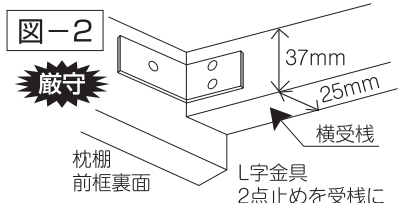
970mm・1450mm・1980mm施工手順④⑤

④ 前框・棚板の固定

* 前框固定...前框を墨出し位置に合わせ横受棧の上部と前框の上部を合わせて下さい。(図-C)
前框正面より横受棧小口に向けて50mmビスにて固定し、(目安として前框と横受棧の高さ合わせ位置から17mm下がった位置)ビス隠しキャップを被せて下さい。(図-1)
前框の裏面と横受棧を同封のL字金具で必ず左右固定して下さい。棚板の強度が保てなくなります。(図-2)

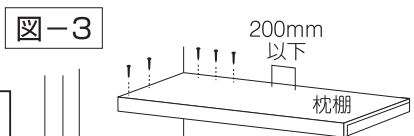


* 棚板固定...前框の凸部分と受棧に接着剤(現場調達)を塗布して下さい。棚板の奥側を先に合わせ、前框の凸部分と棚板の溝加工部分をはめ込んで下さい。棚板表面より200mm以下の間隔で固定します(図-3)



⑤ 雑巾摺り・ビス隠しキャップの取り付け

受棧取り付けビス(75mm)にビス隠しキャップを被せて下さい。棚板と壁との隙間・釘跡を隠すように、隠し釘と接着剤を併用して雑巾摺りを取り付けて完成です。



注意 直接養生テープや粘着テープ、粘着ラベル等を貼らないで下さい。(ダンボール等で養生して下さい)

■ お取り扱い上の注意

- ① この商品は、一般住宅用の押入れクロセット収納棚板セットです。用途以外のご使用はおやめください。
- ② キャスター付き収納ボックスや重量のある荷物の出し入れは、棚板の表面に傷をつける恐れがありますので、取り扱いには十分気を付けて下さい。
- ③ 耐用荷重は通常の使用、中棚で200kg、枕棚で100kgです。それ以上の荷重がかかる危険です。(耐用荷重は施工手順にそって施工された場合)
- ④ 衝撃荷重や集中荷重をかけないようにして下さい。特にお子様がか中で遊んだり飛び跳ねるなど枕棚にぶら下がったりしますと危険です。
- ⑤ サーチライト等の熱源を直接当てないようにして下さい。
- ⑥ お手入れは水で濡らし固く絞った雑巾で拭いて下さい。(家庭用洗剤及びシンナー・ベンジン・漂白剤等有機溶剤は使用しないで下さい。)
- ⑦ 直接養生テープや粘着テープ、粘着ラベル等を貼らないで下さい。(建築完了までダンボール等で表面を養生して下さい)

■ 施工の前に

- ① ご使用前に商品に不足がないか、ご確認下さい。(商品明細を参考に)
- ② 十分な検品をして梱包しておりますが製品上の問題等や、運送中に発生した傷等がございましたら、ご使用前にお買い上げ先まで至急ご連絡ください。

■ 施工時には、必ずこの施工手順に従って施工してください。施工完了前には、荷重をかけないで下さい。(施工後は弊社で責任を負いかねます)

2950mm施工手順④⑤⑥⑦⑧

④ 前框の固定

前框を墨出し位置に合わせ横受棧の上部と前框の上部を合わせて下さい。(図-C)
前框正面より横受棧小口に向けて50mmビスにて固定し、(目安として前框と横受棧の高さ合わせ位置から17mm下がった位置)ビス隠しキャップを被せて下さい。(図-1)
前框の裏面と横受棧を同封のL字金具で必ず左右固定して下さい。棚板の強度が保てなくなります。(図-2)

⑤ 中受棧の取り付け

中受棧の取り付け位置は、棚板の接続箇所になります。(図-IV参照)
中受棧をカットし、L字金具を使用し後ろ受棧に固定して下さい。
さらに、中受棧をL字金具で前框裏面に固定して下さい。(図-III)

⑥ 棚板の長さ切断・固定

棚板本体の切断は棚板の接合位置が中受棧の中央になるように寸法切断して下さい。(図-IV)
棚板は溝加工側が前になるため棚板の奥行きを切断する場合は必ず後側から切断して下さい。(図-B)
前框の凸部分と受棧に接着剤(現場調達)を塗布して下さい。棚板の奥側を先に合わせ、前框の凸部分と棚板の溝加工部分をはめ込んで下さい。棚板表面より200mm以下の間隔で固定します。

⑦ 棚板の補強

吊受棧をカットし、前框表面と吊受棧をビス(50mm)2本で固定して同封のビス隠しキャップを被せて下さい。もう片方は、下地処理されている天井に吊L字金具(天井と受棧各ビス2本止め)で固定して下さい。(図-V)

⑧ 雑巾摺り・ビス隠しキャップ・化粧テープの取り付け

棚板と棚板の接続箇所と同封の化粧テープを貼って受棧取り付けビスにビス隠しキャップを被せて下さい。棚板と壁との隙間・釘跡を隠すように、隠し釘と接着剤を併用して雑巾摺りを取り付けて完成です。

注意 直接養生テープや粘着テープ、粘着ラベル等を貼らないで下さい。(ダンボール等で養生して下さい)

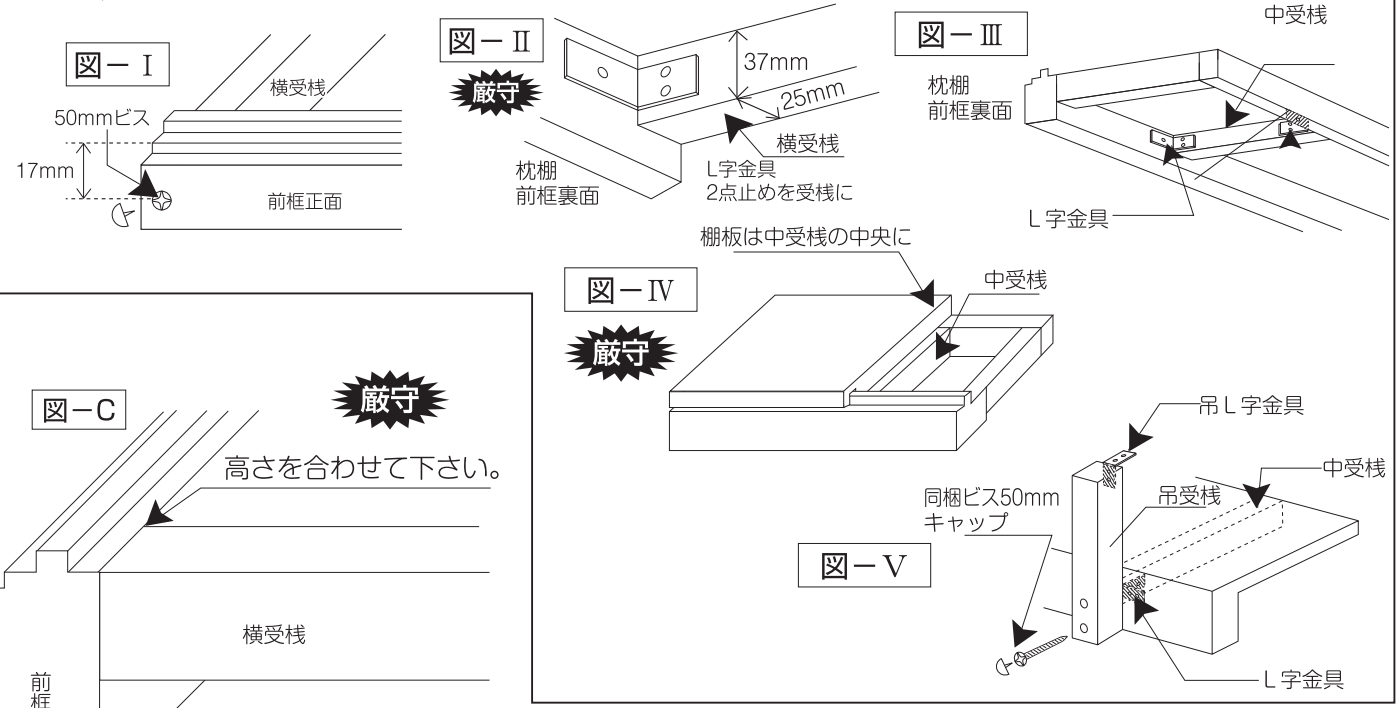


図-C 高さに合わせて下さい。

ご確認ください
付属金物部品がすべて揃っているかご確認ください。

株式会社クトクマーケティング

■ 西日本 岸和田市木材町 9-3 TEL 072(436)1491(代)・FAX 072(436)1497
■ 東日本 千葉県流山市駒木 603-1 TEL 04(7155)2101(代)・FAX 04(7155)3043

| | 3R(970mm) | 4.5R(1,450mm) | 6R(1,980mm) | 9R(2950mm) |
|---------|-----------|---------------|-------------|------------|
| L-50 | 2 | 2 | 2 | 4 |
| L-75 | 8 | 9 | 10 | 12 |
| L字金具 | 2 | 2 | 2 | 4 |
| 吊L字金具 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| L字金具用ビス | 6 | 6 | 6 | 16 |
| ビスキャップ | 10 | 11 | 12 | 16 |
| 化粧テープ | 0 | 0 | 0 | 1 |